

暮らしと福祉についての意識調査

障害福祉の計画づくりのためのアンケート調査です。ぜひ、ご協力ください。

日ごろから、市民の皆様には福祉行政に多大なご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、市川市では、「障害者施策長期計画」に基づき、障害者の福祉向上のための施策・事業を推進してまいりましたが、このたび、この長期計画の目標年次が近づいていること、また、「障害者自立支援法」が制定され、障害福祉サービスのあり方が大きく変化することから、障害福祉に関わる新たな計画が必要となりました。

このアンケート調査は、新たな障害福祉の計画に、市民の皆様のご意見を反映するために実施するもので、身体障害者手帳を持つ市民 1500 人、療育手帳を持つ市民 500 人、精神障害者保健福祉手帳を持つ市民 500 人、手帳を持たない市民 700 人をコンピューター処理により無作為に選び、ご協力をお願いするものです。

調査は無記名であり、回答結果は統計的に処理されますので、あなた個人が特定されることはありません。また、調査結果は調査の目的以外に利用されることはありませんので、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成 18 年 6 月

市 川 市

ご記入にあたって

- この調査票は、身体障害者手帳などをお持ちでない16歳以上の市民を対象とするものです。
- 宛名のご本人がお答えください。
- それぞれの問について、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選ばれたときは、() 内にその内容を具体的にお書きください。
- 設問によっては、一部の方にお聞きするものがありますので、問の→ (矢印) などにしたがって、ご回答ください。
- ご記入が済んだ調査票は、同封の返信用封筒 (切手、記名は不要) に入れて、

7月10日(月)までにご投函ください。

■ご不明な点などありましたら、下記までお問い合わせください。

市川市福祉部障害者支援課障害者計画担当 (身体障害者地域生活支援センター内)

電話：047-370-1871 ファックス：047-370-1872

1 あなたやご家族のことについてお聞きします

問1. あなたの性別と年齢をお聞きします。

(1)性別は。(○は1つ)

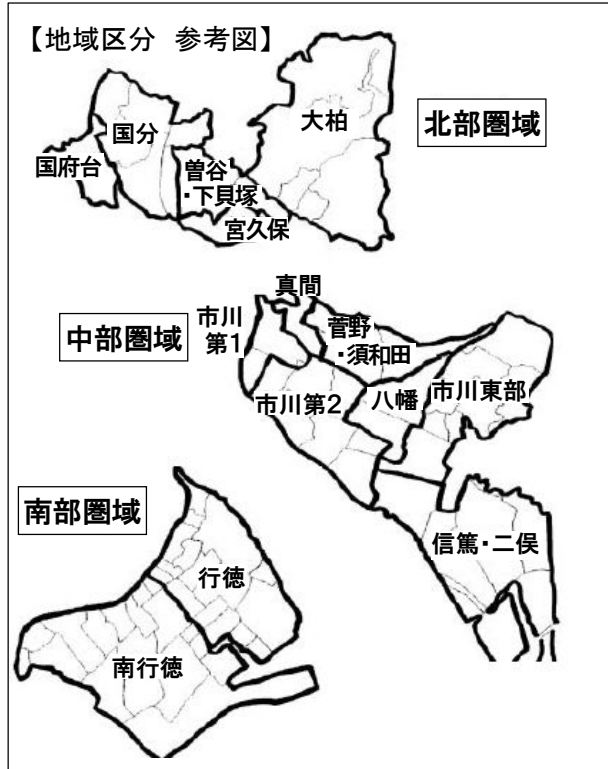
- 1. 男性
- 2. 女性

(2)年齢は。(○は1つ)

- 1. 16～19歳
- 2. 20～29歳
- 3. 30～39歳
- 4. 40～49歳
- 5. 50～59歳
- 6. 60～64歳
- 7. 65～74歳
- 8. 75歳以上

問2. あなたのお住まいの地域は。(右の図を参考にしてください) (○は1つ)

- 1. 北部
- 2. 中部
- 3. 南部



問3. あなたと同居している方は。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 自分ひとり
- 2. 配偶者 (妻または夫)
- 3. 父母 (配偶者の父母を含む)
- 4. 子
- 5. 子の配偶者
- 6. 兄弟姉妹
- 7. その他の親族
- 8. 友人や仲間との共同生活
- 9. その他 ()

問4. あなたのご職業は。(○は1つ)

- 1. 常勤就労
- 2. 非常勤就労 (パートタイム・アルバイト・内職)
- 3. 自営業
- 4. 家事専従
- 5. 生徒・学生
- 6. 無職
- 7. その他 ()

2 健康・福祉に対するご関心についてお聞きします

問5. (40歳以上の方におたずねします) あなたは介護保険制度による要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 受けていない | 5. 要介護2 |
| 2. 受けたが「自立」と認定 | 6. 要介護3 |
| 3. 要支援 | 7. 要介護4 |
| 4. 要介護1 | 8. 要介護5 |

問6. あなたを含めた同居ご家族に、介護の必要な方はおられますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない

問7. あなたのこの1か月程度の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. よい
2. どちらかというといよい
3. どちらかというとい悪い
4. 悪い

問8. 現在のご自分の健康について、不安を感じていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

1. がん、心臓病、脳卒中など生活習慣病（成人病）への不安
2. 生活習慣病以外の病気への不安
3. 心の病気に対する不安
4. 体が不自由になるのではないかという不安
5. 介護・看病してくれる人がいないのではないかという不安
6. 病院や医師に関する不安
7. 医療費の支払いに関する不安
8. 何となく漠然とした不安
9. その他 ()
10. 特に不安はない

問9. あなたは健康・福祉分野のうち、特にどのような領域に関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 健康づくり | 6. ひとり親家庭の福祉 |
| 2. 医療 | 7. 地域の福祉体制づくり |
| 3. 少子化社会対策や子どもに関する福祉 | 8. その他 () |
| 4. 高齢社会対策や高齢者の福祉 | 9. 健康・福祉の分野に特に関心はない |
| 5. 障害者の福祉 | 10. わからない |

3 日常生活における障害者との関わりについてお聞きします

問10. 次にあげた言葉のうち、あなたが知っているものはどれですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. ノーマライゼーション | 9. 精神障害者保健福祉手帳 |
| 2. バリアフリー | 10. 市川市身体障害者地域生活支援センター |
| 3. ユニバーサルデザイン | 11. 市川市子ども発達センター |
| 4. 障害者基本法 | 12. 市川市南八幡メンタルサポートセンター |
| 5. 障害者自立支援法 | 13. 市川市障害者就労支援センター (アクセス) |
| 6. 支援費制度 | 14. 県立市川養護学校・市立養護学校 |
| 7. 身体障害者手帳 | 15. 福祉作業所 |
| 8. 療育手帳 | 16. 知っているものはない |

問11. あなたは日常生活で、なんらかの障害のある方とのかかわりがありますか。また、あなたとはどのような間柄ですか。障害者別にお答えください。

	(1) 身体障害者の方とは	(2) 知的障害者の方とは	(3) 精神障害者の方とは
1. 障害者の健康・福祉に関わる仕事をしているのでかかわりがある	1	1	1
2. 自分が参加しているボランティア活動でかかわりがある	2	2	2
3. 身内である	3	3	3
4. クラスや部活、サークルの仲間や先生である	4	4	4
5. 職場の仲間や取引先の担当者である	5	5	5
6. 近所づきあいをしている	6	6	6
7. その他のかかわりがある	7	7	7
8. 特にかかわりはない	8	8	8

問12. あなたは、何か困っている障害者を見かけた時、手助けをしますか。(○は1つ)。

1. なるべく積極的に声をかけ、手助けしている
2. 求められれば手助けをしている
3. したいと思っているが、いつもためらってしまう
4. 心がけているが、これまで機会がない
5. その他 ()
6. 特になにもしない

4 余暇活動や障害者を支援する活動についてお聞きします。

問13. あなたは、仕事や学校などの用事のない自由時間を、普段、どのように過ごしていますか。また、今後も続けたいこと、新しくやってみたいことはどれですか。

	(1) 現在やっていること (○はあてはまるものすべて)	(2) 今後も続けたいこと、新しくやりたいこと (○はあてはまるものすべて)
1. テレビやビデオ、音楽鑑賞など	1	1
2. 読書(新聞や雑誌、本などを読む)	2	2
3. パソコン	3	3
4. 趣味(料理や囲碁・将棋、手芸、絵画、創作など)	4	4
5. 友人や知人、家族とのだんらん	5	5
6. スポーツ・レクリエーション	6	6
7. 地域活動やボランティア活動、障害者団体等の活動	7	7
8. 買い物・ショッピング、外食	8	8
9. 興味のあることの学習	9	9
10. 映画やコンサート、演劇、美術館	10	10
11. 旅行やドライブ	11	11
12. その他 ()	12	12
13. 特にこれといってない	13	13

問14. あなたはこれまで、障害者を支援する次のような活動に参加したことはありますか。
(○はあてはまるものすべて)。

1. 福祉施設等での演奏会やその他の催しに出演したり、協力したりする
2. 障害者のレクリエーションや交流活動に参加する
3. 福祉施設での介助の手伝いや施設の清掃などをする
4. 在宅障害者の介助、買物の付き添い、代行や自動車の運転など生活を手助けする
5. 手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなどをする
6. 授産施設の製品や障害者の働く店を積極的に利用する
7. 募金活動を呼びかけたり、募金、寄付に協力する

付問14-1も
お答えください

8. その他 ()
9. 特にない

問15に進んで
ください

付問14-1. (問14で1~7を選んだ方にお聞きします) あなたはその活動に、どのような形で参加しましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. 通っている学校の授業や部活、クラブ活動を通じて
2. 職場の研修や社会貢献活動を通じて
3. 労働組合や同業者団体、所属する商店街・商店会などの活動を通じて
4. 所属している地域のサークル・ボランティア団体、自治会等の活動を通じて
5. ボランティア登録制度を通じて
6. 個人的に頼まれて
7. その他 ()

問15. (再びすべての方にお聞きします) 障害者を支援する活動を活発にするためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(○は2つまで)

1. 支援を求める側と、支援をしたい・できる側とを結びつける仕組みを充実する
2. 子どもたちからのボランティア教育や体験学習を推進する
3. 支援活動を行っている団体やNPO、企業、学校を表彰するなど、貢献をたたえる
4. 障害福祉の活動を行うボランティア団体やNPOに対する支援を充実する
5. 障害者や障害福祉についての広報・情報提供を充実するなど、社会的気運を高める
6. 隣近所でのコミュニケーションを深め、気軽に助け合えるようにする
7. その他 ()
8. 特に活発にする必要はない
9. わからない

問16. あなたは、今後、障害者を支援する何らかの活動に協力したいと思いますか。また、どのような活動に参加したいですか。(〇はあてはまるものすべて)。

1. 福祉施設で介助の手助けをするなどのボランティア活動
2. 在宅の障害者の手助けするボランティア活動
3. 障害者のレクリエーションや交流活動に参加する
4. 手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹き込みなど、特技を生かした活動
5. 授産施設の製品や障害者の働く店を積極的に利用する
6. 募金活動を呼びかけたり、募金、寄付に協力する
7. 困っている人を見かけたら、なるべく手助けをする
8. その他 ()
9. 特に協力したいと思わない
10. わからない

5 障害者福祉の情報についてお聞きします。

問17. あなたは、障害のある方の問題や障害者福祉について、どの程度関心がありますか(〇は1つ)

1. 非常に関心がある
2. ある程度関心がある

付問17-1もお答えください

3. あまり関心がない
4. 全く関心がない
5. どちらともいえない
6. わからない

問18に進んでください

付問17-1. (問17で1~2を選んだ方にお聞きします) 関心を持っている理由やきっかけは何でしょうか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 自分にも現在、心身の不自由なところがあるから
2. 身内や親しい人に、心身の不自由な人がいるから
3. 自分や身内、親しい人も障害を持つ可能性があるから
4. 福祉に関わる仕事をしているから
5. まちや職場、学校などで障害のある人をよく見かけるようになったから
6. 障害のある人のドラマや本、パラリンピックなどを見て感動したから
7. 社会的に弱い立場の人の問題に関心があるから
8. なんとなく
9. その他 ()
10. わからない

問18. (再びすべての方にお聞きします) 障害者福祉についての情報は、主にどこから入手していますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 新聞・雑誌・本で | 8. 市役所窓口や出前講座 |
| 2. テレビ・ラジオで | 9. 学校、職場で |
| 3. インターネットで | 10. 施設や病院で |
| 4. 市の広報、パンフレットで | 11. 家族、友人・知人から |
| 5. 福祉団体の活動や講習など | 12. その他 () |
| 6. 社会福祉協議会の窓口や広報で | 13. 特にない |
| 7. 民生委員から | |

6 これからの障害福祉についてお聞きします

問19. 「ノーマライゼーション」(障害のある人々が特別視されることなく、社会の一員として、普通の生活ができる条件を整え、障害のある人もない人も共に生きる社会こそノーマル(正常)であるという考え)という言葉をご存じですか。(〇は1つ)

1. 聞いたことがあり、意味も知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 聞いたことがない

問20. あなたの身の回りでは、「ノーマライゼーション」が実現されていると思いますか。以前(5年ぐらい前)と比較して、どうでしょうか。(〇は1つ)

1. 十分実現している
2. まだ十分ではないが、以前(5年ぐらい前)よりはよくなっている
3. 以前(5年ぐらい前)とあまり変わらない
4. 以前(5年ぐらい前)よりも後退している
5. わからない

問2 1. ノーマライゼーションの理念に基づく社会づくりを進めるうえでは、バリアフリーを進めることが重要です。あなたの身の回りを考えた時、バリアフリーの面で、特に大きな課題は何だと思いますか（※バリアフリーとは、障害のある人の社会参加を進める上で障壁（バリア）となるものを解消することをいいます）。

(1)物理的な障壁についての課題（○は2つまで）

（※物理的な障壁（バリア）とは、建物、設備などの面で障害のある人が利用しにくい状況になっているものをいいます）

1. 駅や電車、バスなど公共交通機関等の階段（段差）の多さ、改札口の狭さ
2. 歩道の狭さや自転車の放置、電柱など障害物の多さ
3. 道路の段差や傾斜
4. 建物の入り口の段差やドア、店舗内の通路の狭さ
5. 障害者の利用に配慮したトイレの少なさ
6. その他（ ）
7. 特にない
8. わからない

(2)社会的な障壁についての課題（○は2つまで）

（社会的な障壁（バリア）とは、制度や仕組みなどの面での障壁や、さまざまな活動に障害者が参加しにくい要因になっているものなどをいいます）

1. 障害児教育に対応できる学校や、教師、指導者の少なさ
2. 学校の入試や就職試験等における、点訳や音声の使用など障害者への配慮の不足
3. 資格や免許の取得などにおける不必要な欠格条項
4. 障害者の雇用に対する企業や官公署の取り組みの不足
5. 盲導犬や介助犬とともに利用できない施設があること
6. 点字や文字放送、音声案内や絵文字の使用が拡大しないなど、情報アクセスの制約
7. その他（ ）
8. 特にない
9. わからない

(3)心理的な障壁についての課題（○は2つまで）

（心理的な障壁（バリア）とは、人々の自然な交流を妨げる偏見や誤解などをいいます）

1. 障害や障害のある人に対する無関心
2. 心ない言葉や視線
3. 子ども扱いするなど、相手を対等とみなさない態度
4. 犯罪と障害を簡単に結びつける短絡的な発想
5. いじめや性的嫌がらせの対象にするなど、人格や尊厳を認めない態度
6. その他（ ）
7. 特にない
8. わからない

問2 2. 今後の障害福祉サービスと社会の負担のバランスについて、どのようにするのがよいと思いますか。(○は1つ)

1. 社会の負担を現在より高くしても、充実した障害福祉サービスを提供すべきだ
2. 社会の負担を現在程度で維持して、そのなかで障害福祉サービスを提供すべきだ
3. 社会の負担を現在より低くするために、最小限の障害福祉サービスを提供すべきだ
4. わからない
5. その他 ()

問2 3. あなたは、障害のある人もない人も、自立して共に社会に参加し、自分らしく生きることのできる社会とするために、特に何が重要だと思いますか。(○はあてはまるものすべて)。

1. 障害者を手助けする人を育てる
2. 障害者が参加しやすい地域の催しを増やしたり、地域団体の活動を活発にする
3. 障害児者の学校教育をよくする
4. 障害者の働く場を増やす
5. 障害者への手当を増やす
6. 障害者の健康づくりや機能回復訓練の機会を増やす
7. 障害者の医療の内容を高めたり、受診しやすくする
8. 福祉サービスの情報をもっとわかりやすく伝える
9. 本人や家族の心配事、悩みなどを安心して相談できるところを増やす
10. 障害者が暮らしやすい住まいを増やす
11. 家族など、介助している人を助けるサービスをよくする
12. 施設や建物、交通のバリアフリー化を進める
13. 障害、障害者に対する市民の理解を深める
14. 障害のない子どもたちが障害者について学んだり、触れ合う機会を増やす
15. 障害者の権利に対する社会の理解を深めたり、権利を守る仕組みをよくする
16. その他 ()
17. わからない

質問は以上です。最後に、市川市の障害者福祉についてのご意見などがありましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

長時間にわたるご協力、ありがとうございました。ご記入のおわった質問票は、同封の返信用封筒に入れ、7月10日(月)までにご投函ください。